



札幌市みどりの基本計画中間評価

緑の審議会（第78回）
平成29年（2017年）11月 14日

「第3章 目標と達成状況」について

●「みどりの量」

- ・増減箇所の子査が必要

●「みどりづくりに参加した市民の割合」

- ・市民アンケートのサンプリング方法は？
- ・市民アンケートの回答者属性は？
- ・設問と結果は？
- ・分析等の項目を、平成22年当時と比較して詳細に記載

●「都心部樹林率」

- ・増減箇所の子査が必要

●「公園機能の見直し」

- ・今までの実績と今後の見通しを示してほしい
- ・公園再整備時に利用実態調査も必要



前回の審議でいただいたご意見

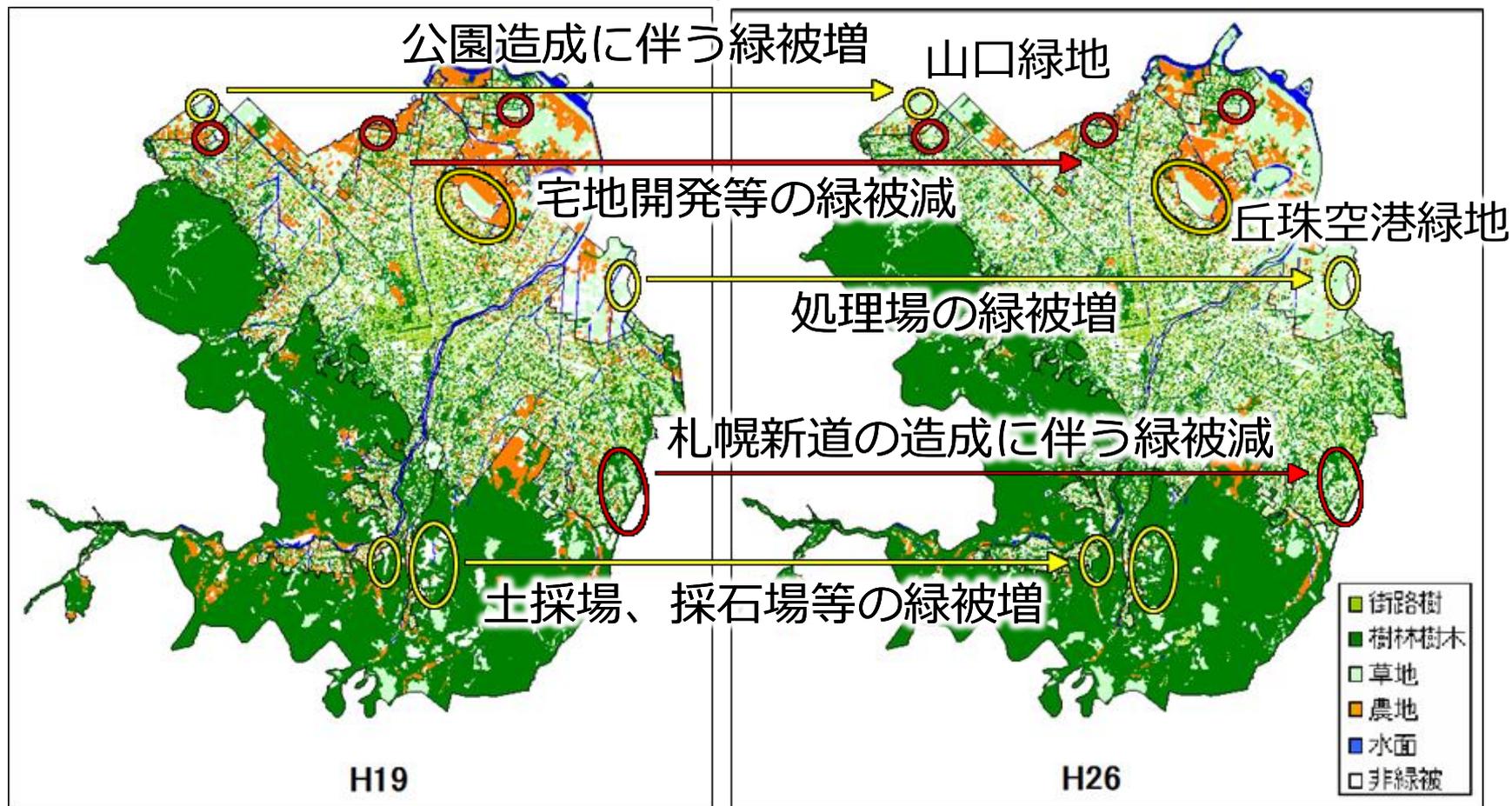
「第5章 中間評価の総括」について

- 伸び悩んでいる項目についてすべて記載し、今後の対応の視点などを追加する
- 最後に市としてのメッセージを入れた方が良い

ご意見に対する対応・回答

- みどりの量の増減箇所の精査が必要

「みどりの量で増えた場所などの質を観察する必要がある」



都市計画区域の緑被の状況

項目	面積 (ha)			緑被率		
	H19	H26	H26-H19	H19	H26	H26-H19
樹林地	22,173	22,496	+323	38.5%	39.1%	+0.6%
(街路樹)	264	288	+24	0.5%	0.5%	0.0%
(樹林樹木)	21,909	22,208	+299	38.1%	38.6%	+0.5%
草地	5,169	5,801	+632	9.0%	10.1%	+1.1%
農地	3,115	2,938	-177	5.4%	5.1%	-0.3%
水面	769	780	+11	1.3%	1.4%	0.0%
非緑被	26,317	25,526	-792	45.7%	44.4%	-1.4%
緑被(水面含む)	31,225	32,015	+790	54.3%	55.6%	+1.4%

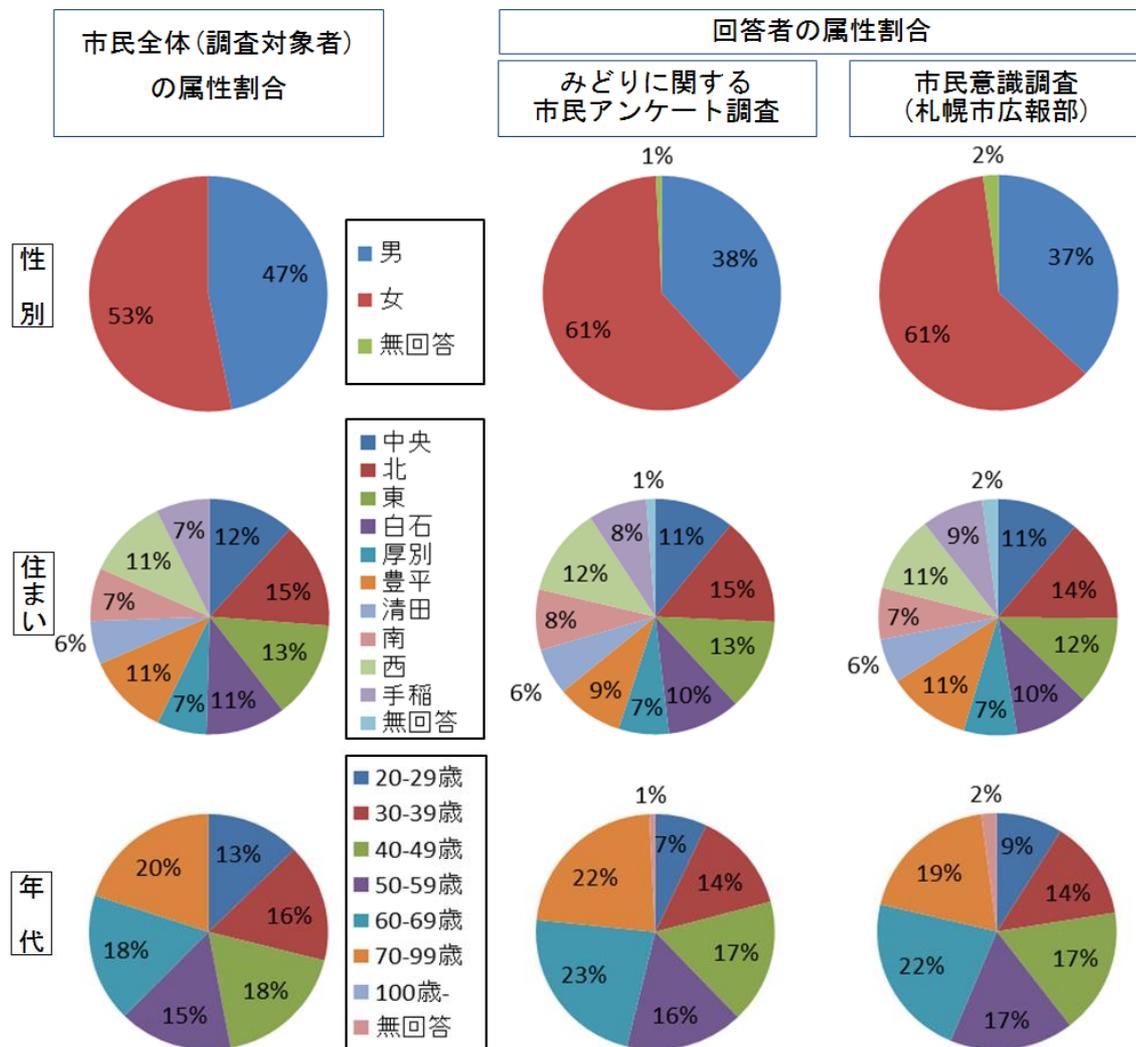
中間評価報告書7ページに追加

ご意見に対する対応・回答

- **みどりづくりに
参加した市民の割合**
市民アンケートの
サンプリング方法は？
市民アンケートの
回答者属性は？

市民全体の割合
(性別・年齢・住居)
と同じ割合で3,000人を
抽出して送付

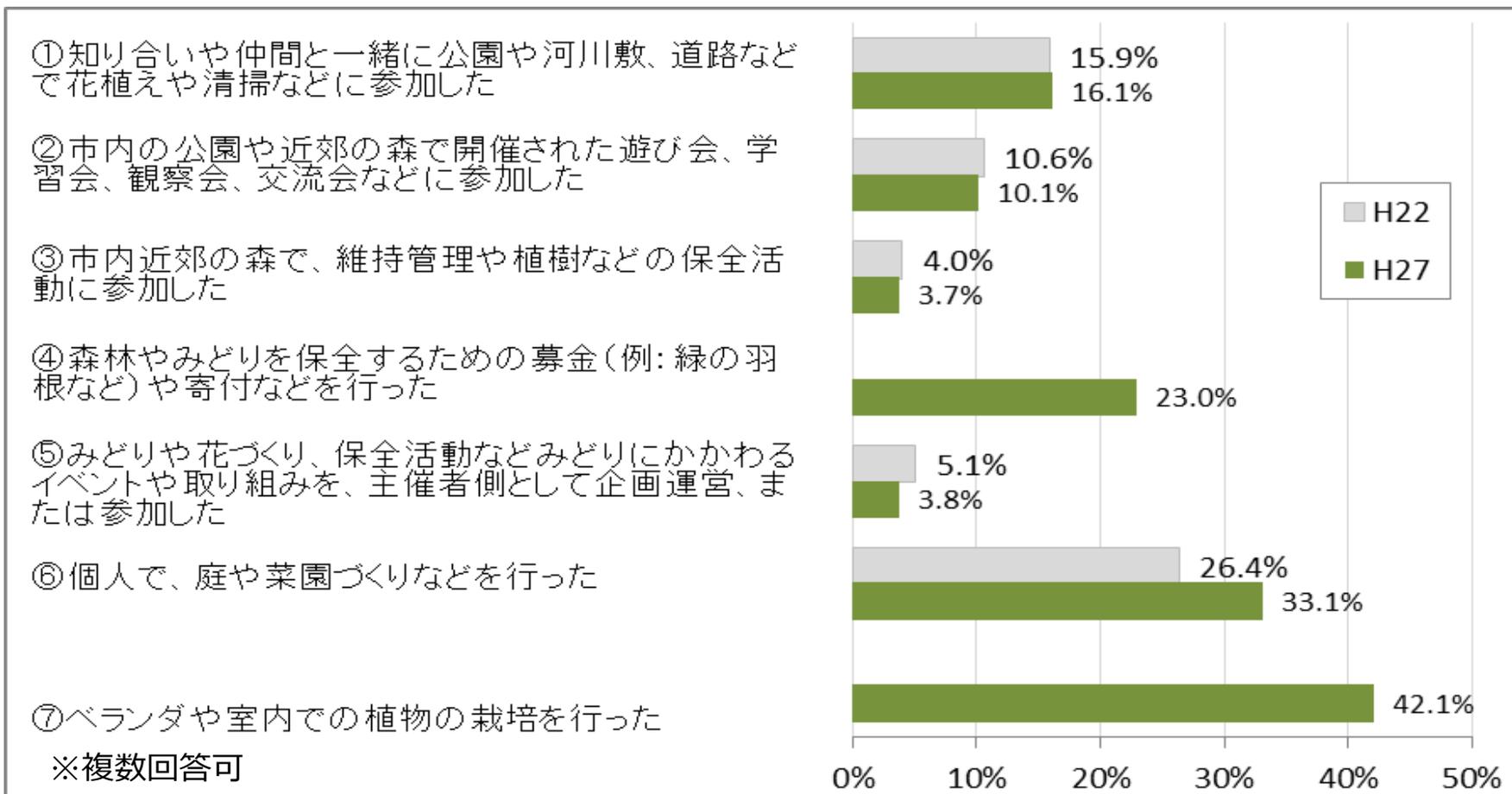
一般的な市のアンケートと
回答者属性の傾向は類似



ご意見に対する対応・回答

市民アンケートの結果。

設問：この1年間に、市内の公園などでみどりづくりやイベント（遊び会、自然観察会、学習会、交流会など）に参加したことがありますか？

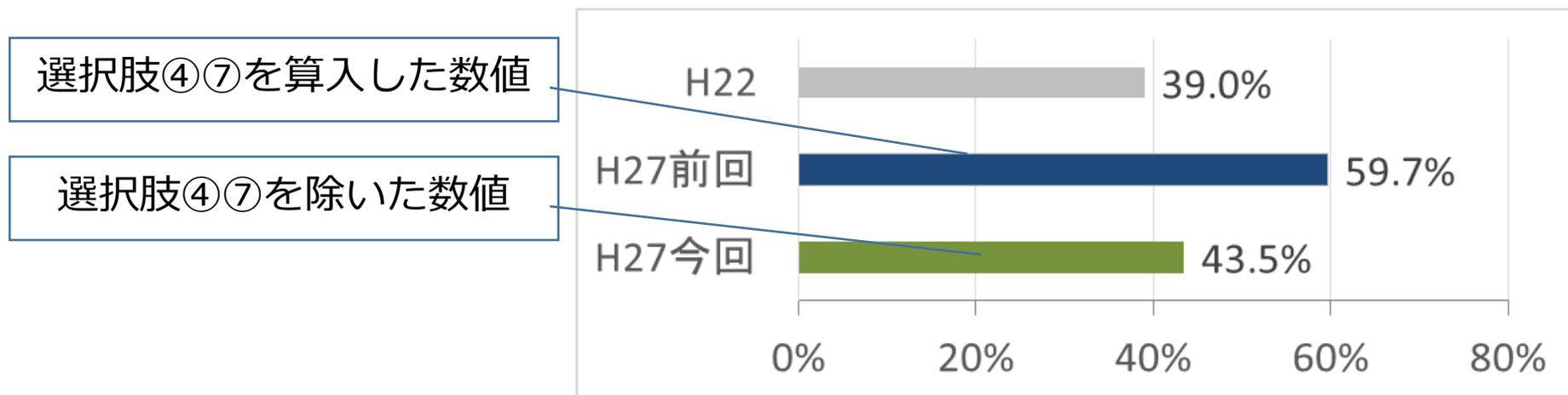


- 当初の目標設定としては、市民の2人に1人がみどりづくりに参加してほしいという気持ちを込めて50%以上と目標設定とした。
- 平成26年度に、当初の選択肢では捉えきれていなかった市民のみどりづくりの実態を正しく把握するため、④を追加している。
- 平成27年度に、異なる捉え方をされる可能性のある⑥について、その内容を明確化するため、選択肢⑦を追加している。

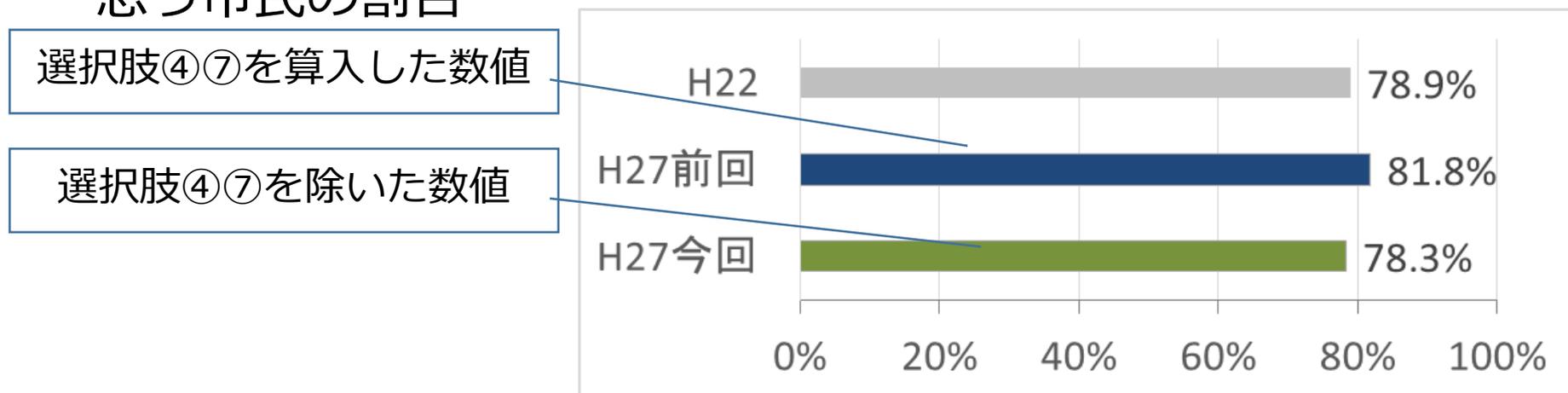


- 精査した結果、目標達成の評価について平成22年度と比較するため④⑦を除いた数値に修正する。
ただし、④⑦を算入した数値も()で記載する。

「みどりづくりなどに参加した市民の割合」 =
 選択肢の1つ以上「参加した」と回答した市民の割合



「みどりづくりなどに参加し、今後も参加したいと思っている市民の割合」 = 選択肢の1つ以上に参加し今後も参加したいと思う市民の割合



中間評価報告書 8 ページの表を下記のとおり修正します。

前回審議会

目標	当初 H22	現況値 H27	目標値 H32
みどりづくりなどに参加した市民の割合	39.0%	59.7%	3割増 (50%)
みどりづくりなどに参加し、今後も参加したいと思っている市民の割合	78.9%	81.8%	H22以上



修正案

目標	当初 H22	現況値 H27	目標値 H32
みどりづくりなどに参加した市民の割合	39.0%	43.5% (59.7%※)	3割増 (50%)
みどりづくりなどに参加し、今後も参加したいと思っている市民の割合	78.9%	78.3% (81.8%※)	H22以上

※()内の数字は市民アンケートの選択肢④⑦を追加した数値です。

ご意見に対する対応・回答

●「みどりづくりに参加した市民の割合」

分析等の項目を、平成22年当時と比較して詳細に記載する必要があるのではないか？



中間評価報告書 8ページを下記のとおり修正します。

【達成状況】

- みどりづくりなどに参加した市民の割合は、当初39%だった数値が平成27年度は43.5%と4.5%増加しているものの目標達成には至っていません。
- 今後も参加したい市民の割合についても平成22年度以上とした目標をわずかに下回っています。
なお平成27年度の現況値の下段括弧内の数値については、アンケートの設問を明確化する、実態を多様な視点で把握するため選択肢を増やした数値となっています。

中間評価報告書 8ページを下記のとおり修正します。

【現状分析】

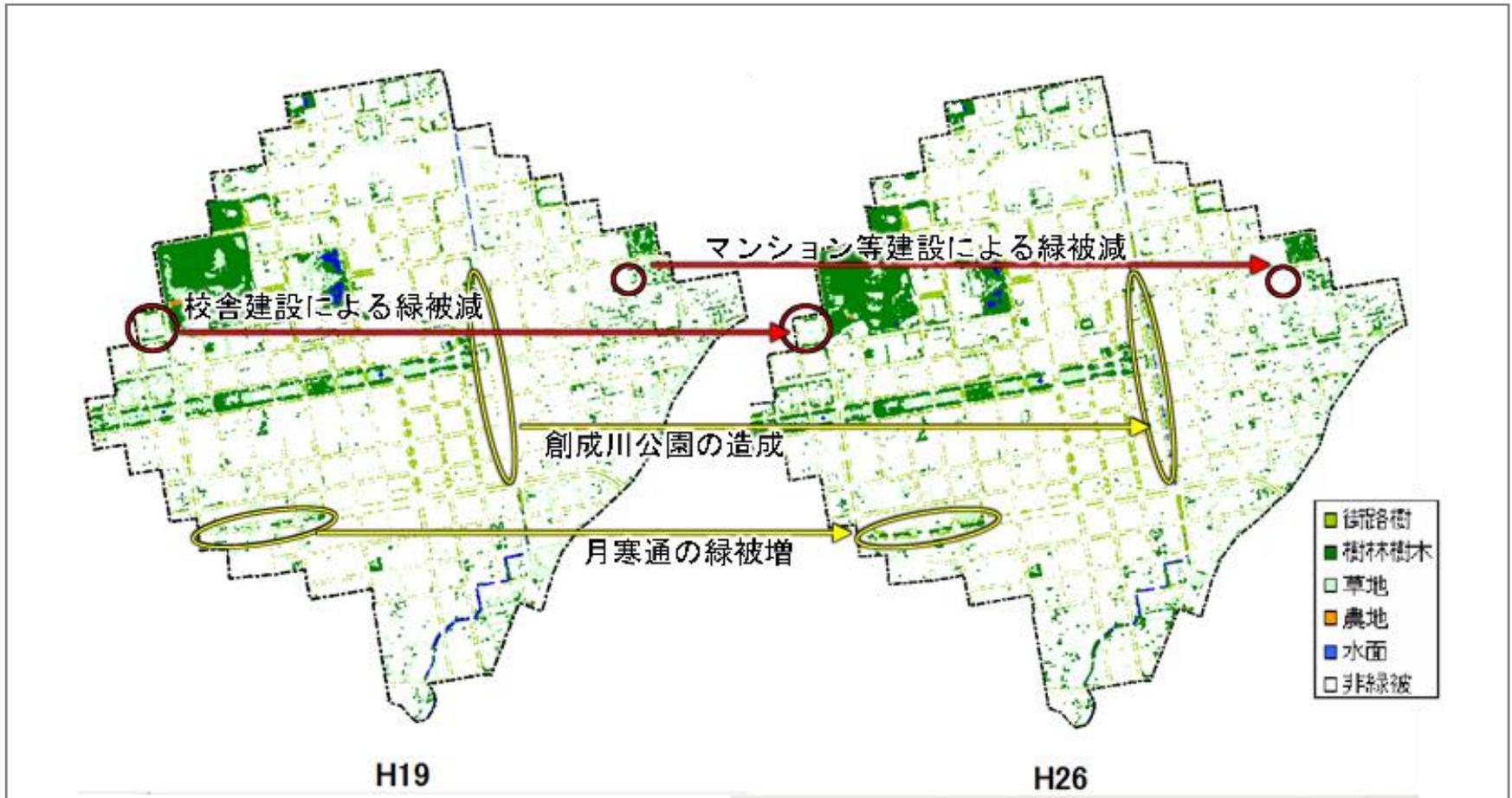
- 当初の目標設定としては、市民の2人に1人の方にみどりづくりなどに参加していただきたいと考え目標設定をしたところですが、当初の設問に選択肢を追加したところ6割近い市民がみどりづくりにかかわっていることが分かりました。
増加の要因としては、個人で庭や菜園づくりを行った人(選択肢⑥)が平成22年は26.4%だったのに対し平成27年度調査では33.1%に増加しており、個人でみどりを楽しみ触れる機会が増えていることがあげられます。

中間評価報告書 8 ページ を下記のとおり修正します。

【今後の方策】

- 札幌市では、みどりに関する催事や講習会を開催し、みどりづくりのスキルの向上やふれあう機会の創出に取り組んできました。このことが、個人で庭や菜園づくりを行う人の増加につながっていると考えています。今後は、みどりづくりにかかわる人の環を広げていけるように、交流の場の提供や、活動のリーダーの育成に努めてまいります。

● 都心部樹林率の増減箇所の特査が必要



【補足：都心部の樹林地とは】

航空写真により判読された街路樹や樹林・樹木の樹冠に覆われている箇所を樹林地として定義。

例) 道路の街路樹、大通公園等の公園樹木、植物園の樹林

表 都心部の緑被の状況

項目	面積 (ha)			緑被率		
	H19	H26	H26-H19	H19	H26	H26-H19
樹林地	36.50	37.01	+0.51	8.94%	9.06%	+0.12%
(街路樹)	9.02	9.88	+0.86	2.21%	2.42%	+0.21%
(樹林樹木)	27.48	27.13	-0.36	6.73%	6.64%	-0.09%
草地	10.83	11.58	+0.75	2.65%	2.84%	+0.18%
農地	0.20	0.11	-0.08	0.05%	0.03%	-0.02%
水面	1.49	1.90	+0.40	0.37%	0.46%	+0.10%
非緑被	359.25	357.67	-1.57	87.99%	87.61%	-0.39%
緑被(水面含む)	49.02	50.59	+1.58	12.01%	12.39%	+0.39%

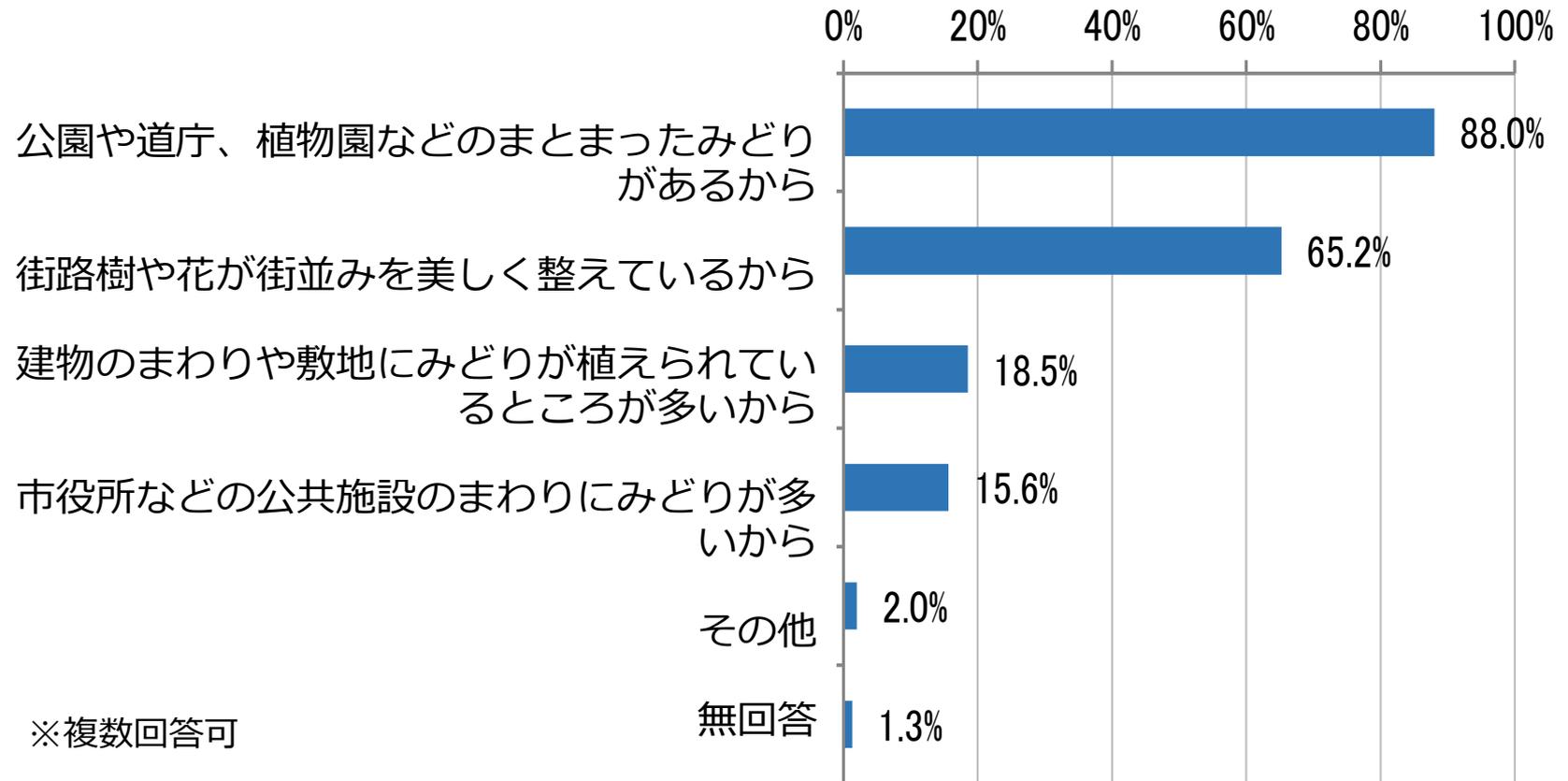
中間評価報告書11ページに追加

市民は都心部のどんなみどりを豊かと感じているのか？



市民アンケートの結果

設問：みどり豊かだと思う方にお聞きします。みどり豊かだと思ふ理由は何ですか。



※複数回答可

ご意見に対する対応・回答

- 公園機能の見直し公園数の今までの実績と今後の見通しは？



年度	H5 ～ H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30 予定	H31 予定	H32 予定
核となる公園	300	10	13	15	17	18	19	16	20	21	21	21
機能特化公園	5	6	8	4	9	8	8	6	12	14	15	15
単年度計		16	21	19	26	26	27	22	32	35	36	36
トータル数	305	321	342	361	387	413	440	462	494	529	565	601



H32目標値 705

中間評価報告書16ページに下記を追加します。

毎年の整備か所を現在の25～30か所から35か所程度に増やすことで、平成32年度までに約300か所増（約600か所）目指します。

ご意見に対する対応・回答

●「公園機能の見直し」

- ・公園再整備時に利用実態調査も必要。



大規模公園の再整備の際や、不定期ではあるが必要に応じて公園の利用調査などを実施しています。

今年度は再整備の効果を検証するため再整備前の利用者数調査を行っています。



中間評価報告書16ページに下記の赤字部分を追加します。

平成27年度に公園施設長寿命化計画を策定し公園施設ごとの改修に取り組む予定であり、このことから、部分的であっても地域のニーズと利用実態に応じた取り組みが可能であると考えています。

ご意見に対する対応・回答

第5章 中間評価の総括

伸び悩んでいる項目についてすべて記載し、今後の対応の視点などを追加したほうが良い。



中間評価報告書42ページに下記を追加します。

そのほかの8つの目標のうち「都心部がみどり豊かであると感じている市民の割合」と「身近な公園に対する市民の満足度」の2つについてはすでに目標を達成しています。

「保全されているみどりの面積」については平成32年までに達成する見込であり、「みどりづくりなどに今後も参加したい市民の割合」も目標値に近い数値となっています。

中間評価報告書42ページに下記を追加します。

一方で、「みどりづくりなどに参加した市民の割合」、「都心部樹林率」、「森林の保全活動に参加した市民の割合」、「公園機能の見直しを図った公園の数」については伸び悩んでいます。

目標達成には厳しい項目もありますが、計画策定当時に掲げた「人とみどりが輝くさっぽろ」を実現するため、新たな視点を盛り込みながら、更なる進捗を目指します。

まず、「みどりづくりなどに参加した市民の割合」については、みどりづくりにかかわる人の環を広げていけるように、交流の場の提供や、活動のリーダーの育成に努めてまいります。

「都心部樹林率」については、街路樹のボリュームアップを進めるほか、民間開発や公共施設の緑化をこれまで以上に推進する手法を検討していきます。

森林の保全活動については、森林についての理解を進めるため、森林レクリエーションなど環境教育にも力を入れていきます。

さらに、公園機能の見直しについては、見直しの手順をルール化するなどセットで整備する公園数を増やすとともに、全面再整備だけでなく、施設の更新にも平行して取り組み、時代背景に合わせた公園施設の見直しを図っていきます。

最後に市としてのメッセージを入れた方が良い。



中間評価報告書43ページに下記を追加します。

このような課題については、現計画の取り組みを推進しながら、新たな視点が必要な事項について、市民の皆様との十分な議論を踏まえて、みどりの基本計画の改定についても、現計画の進捗を踏まえて取り組んでまいります。

そのほかの 前回の審議でいただいたご意見

- みどりの量だけではなく質を高めていくべき。
- 都心部のみどりを増やすには、公共施設の緑化などにも踏み込んだ議論が必要。
- 環境問題を踏まえて壁面緑化や屋上緑化を推進するなど新たな施策や位置づけが必要。
- みどりと生き物との関連など、生物多様性に関する記述が少ない。
- 子育て世代の意見を公園造成に反映してほしい。
- 都市計画マスタープランが改正されているなどの動きとみどりの基本計画が連動していくことが必要。



次期みどりの基本計画策定に向けて検討